

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況（2023年12月度）

- 参加手続きが完了しているISP（インターネット・サービス・プロバイダ）は**82社**。
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**5,190件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**672件**の対象を検知しISPへ通知。

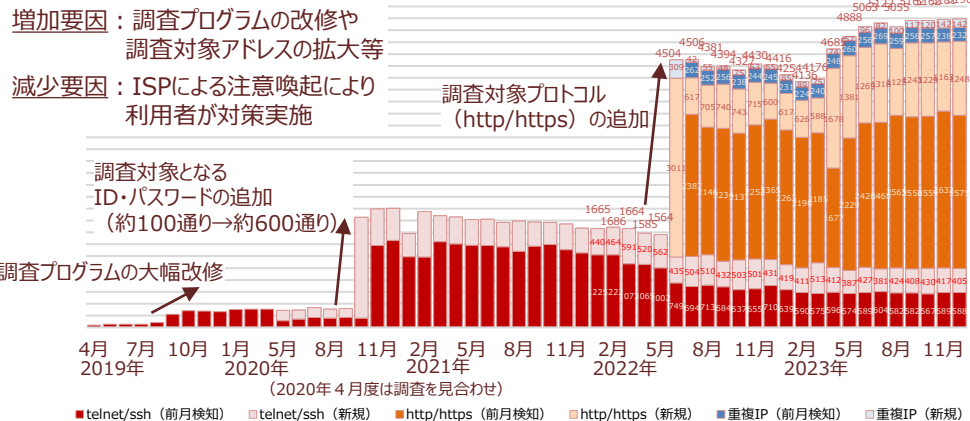
NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

5,190件（11月度:5,181件）

（参考）2019年度からの累積件数：128,258件
ID・パスワードが入力可能だったもの：28.5万件

*)特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



NICTER注意喚起※の取組結果

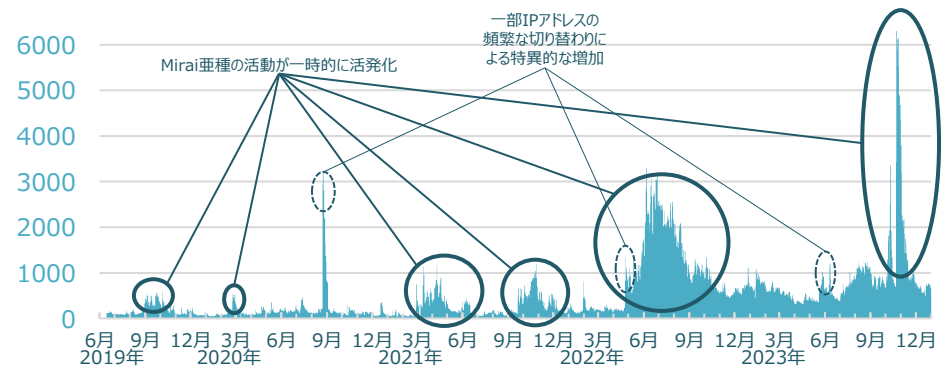
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均672件（11月度:1,438件）

（参考）期間全体での値：1日平均530件
最小：40件(2021/2/10)／最大：6,300件(2023/10/23)

***)NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



※2023年12月度から、NICTER注意喚起グラフの縦軸上限を変更

- ✓ NICTER注意喚起で観測した2023年10月中旬頃の増加は、Mirai（亜種含む）の活動活発化を受けたものと考えます。また、その後も検体の変化による脅威が続いていると考えます。